

地下鉄・市バス

公営であることの意味を考える



4・27シンポジウム

4月27日(土) 開場午後1時20分

午後1時45分~4時30分

クレオ大阪東 ホール

城東区鳴野(しぎの)西 2-1-21

JR京橋駅南口から南へ約 600m、地下鉄長堀鶴見緑地線大阪ビジネスパーク駅 4 番出口から東へ約 700m、京阪線京橋駅中央口から南へ約 850m



資料代 500円

どなたでも参加できます。申し込み不要

3月市会で地下鉄・市バス民営化条例案が、市民の怒りの声と運動で継続審議となり、5月市会に持ち越されました。とはいえ、民営化の議論が止まったわけではありません。

誰もが安全で安心して移動できる公共交通の整備、そのことに大阪市の責任が求められるのではないのでしょうか。

地下鉄・市バスは、長年にわたって作りあげてきた市民の財産です。

公営であることの意味をともに考えましょう。

コーディネーター

森 裕之さん

(立命館大学教授)



シンポジストのみなさん

大岩根 定さん(住之江区西加賀屋4丁目町会長)

阪井 清二さん(「私鉄連帯する会」政策委員長)

伊藤 一正さん(市営交通を守る東住吉区連絡会代表)

ビデオレター

河田 恵昭さん

(関西大学社会安全研究センター長・教授)



主催:交通権の確立・大阪市営交通を守り発展させる会(略称「大阪市営交通の会」)

連絡先:大阪市北区天神橋 1-13-15 大阪グリーン会館 6F 全日本年金者組合大阪府本部内 電話番号: 06-6354-7207